



# 消防団たずね歩き

## 消火に不可欠な水源!

西消防団岩岡支団は、地域の安全・安心を守るため、年末特別警戒・防災訓練など、さまざまな活動をおこなっております。

毎年、岩岡支団ポンプ操法大会、隔年でおこなわれる西区ポンプ操法競技会・神戸市小型動力ポンプ操法大会に向けて、各班日々訓練をおこなっております。

岩岡町は直近の西消防署本署からは距離があることから、ほとんどの場合地元消防団が火災現場に最先着します。火災現場では、小型動力ポンプを用いて初期消火をおこなうために必要なのは、水源です。防火水槽・消火栓の位置は、各班に配布されている地図で探します。火災現場直近の消火栓はどこか、各班団員が担当地区を把握している、していないでは、火災現場への対応状況が大きく変わってきます。そこで、昨年度5月中旬～8月中旬に、岩岡町全体の消火栓の点検も兼ねた、位置の把握と蓋の塗装をおこないました。その時にわかったのが、各班の区域以外の消火栓について、把握しきれていない消火栓があったことでした。

このことを踏まえたうえで、岩岡支団として岩岡町全体の消火栓位置が示されたオリジナルの地図を作成中です。

現在、火災出動指令は、各団員にメールを送信するシステムとなっています。そのメールには地図も添付されており、その地図を確認して積載車で現場に向かいますが、現場に到着しても消火栓が近くにないと、初期消火が遅れます。後着した消防隊との水源の引き継ぎも遅れ、被害が拡大してしまいます。引き継ぎは訓練できますが、水源を確保してでの話。水源が確保できていない状態では、混乱が生じて火災対応が遅れていきます。初期消火として現場にいち早く到着することはいいことですが、水源の確保ができていなければ火災を目の前で見ているだけの状態です。火災現場に最先着する消防団として、消火栓の位置を把握していることにより、いち早く水源の確保ができ、消火活動や消防署との引き継ぎをスムーズにおこなえ、被害を最小限にできると、支団本部は考えています。

支団本部として、消火栓の点検・位置把握・蓋塗装、そしてオリジナル地図の作成をすることにより、団員には火災現場での水源の確保を第一と考え、行動するように指導しています。(岩岡支団本部 福井功一)



**地域に根付いた消防団を目ざしています!**

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局  
神戸市消防団

